

事後評価調書(案)

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業(緊急農地防災事業)																										
地区名	ほんまちふないり 本町舟入地区																										
事業箇所	あまぐんかにえちようたから 海部郡蟹江町宝																										
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県西部に位置する二級河川<small>かにえがわ</small>蟹江川、二級河川<small>ふくたがわ</small>福田川に挟まれた蟹江町と一部名古屋市に跨る流域面積 191.0ha の排水を担う農業用排水機場を改修するものである。</p> <p>本地区はゼロメートル地帯であり、地区内の排水は、洪水時以外の通常時においても、本町舟入(一)排水機、本町舟入(二)、本町舟入(三)、本町舟入(四)排水機場、舟入排水機場<small>ふないり</small>により蟹江川へ強制排水している。</p> <p>しかし、流域開発による降雨流出量の増加や既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下により、地区の排水状況は著しく悪化し、豪雨時にはしばしば農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じている。</p> <p>このため、機能低下が著しい本町舟入(一)排水機、本町舟入(二)及び(三)排水機場を1<small>たから</small>機場に統合し宝排水機場を新設することし、湛水被害を防止し、農業経営及び県民生活の安定を図ることを目的として、2009年度から緊急農地防災事業を実施し、2019年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>既設排水機場を改修し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。 (計画基準雨量 341mm/3日、1/20年確率雨量)</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	10.4億円		■工事費 9.1億円、■用補費 0.0億円、■その他 1.3億円																								
事業期間	採択年度	2009年度	着工年度	2011年度	完成年度	2019年度																					
事業内容	排水機場 1か所																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了以降、2020年10月8日～10日に最大3日連続雨量 182.5mm の降雨をはじめ以下の雨量を観測しているが、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>●雨量実績 (蟹江観測所降雨データ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続雨量</td> <td>341mm</td> <td>110.0mm</td> <td>182.5mm</td> <td>132.5mm</td> <td>107.5mm</td> <td>138.5mm</td> </tr> <tr> <td>(最大1時間雨量)</td> <td>(53.1mm)</td> <td>(29.0mm)</td> <td>(17.5mm)</td> <td>(31.0mm)</td> <td>(24.5mm)</td> <td>(28.0mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>最大3日連続雨量は計画基準雨量以下であるが、事業完了以降、湛水被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	2019	2020	2021	2022	2023	最大3日連続雨量	341mm	110.0mm	182.5mm	132.5mm	107.5mm	138.5mm	(最大1時間雨量)	(53.1mm)	(29.0mm)	(17.5mm)	(31.0mm)	(24.5mm)	(28.0mm)
	区分	計画	2019	2020	2021	2022	2023																				
	最大3日連続雨量	341mm	110.0mm	182.5mm	132.5mm	107.5mm	138.5mm																				
(最大1時間雨量)	(53.1mm)	(29.0mm)	(17.5mm)	(31.0mm)	(24.5mm)	(28.0mm)																					

	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 —</p> <p>【達成状況に対する評価】 —</p>																																								
② 事業効果の発現状況		<p>【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】</p> <table border="1" data-bbox="384 349 1437 788"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>事業採択時 (2009)</th> <th>実績 (2019)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>2009～2015 (7年間)</td> <td>2009～2019 (11年間)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費 (億円)</td> <td>工事費</td> <td>9.4</td> <td>9.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償費</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.5</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10.9</td> <td>10.4</td> <td>0.5億円減</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">効果の 算定要因</td> <td>流域面積</td> <td>191.0 ha</td> <td>191.0 ha</td> <td>増減なし</td> </tr> <tr> <td>農地面積</td> <td>20.0 ha</td> <td>16.1 ha</td> <td>3.9ha 減</td> </tr> <tr> <td>宅地等面積</td> <td>171.0 ha</td> <td>174.9 ha</td> <td>3.9ha 増</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業期間に対する評価】 事業期間を4年間(2015→2019)延長したが、既存の排水機場を活用しながら事業を進めたため、事業期間の延長による大きな影響はなかった。</p> <p>【事業費に対する評価】 工事費の積算精査により、事業採択時より事業費が0.5億円減で事業完了した。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】 事業採択時と比較して、流域面積の増減はなく、事業完了以降湛水被害を防止できているため、概ね計画どおり効果が発現していると評価できる。</p>	項目		事業採択時 (2009)	実績 (2019)	備考	事業期間		2009～2015 (7年間)	2009～2019 (11年間)		事業費 (億円)	工事費	9.4	9.1		用地補償費	0.0	0.0		その他	1.5	1.3		合計	10.9	10.4	0.5億円減	効果の 算定要因	流域面積	191.0 ha	191.0 ha	増減なし	農地面積	20.0 ha	16.1 ha	3.9ha 減	宅地等面積	171.0 ha	174.9 ha	3.9ha 増
	項目		事業採択時 (2009)	実績 (2019)	備考																																					
事業期間		2009～2015 (7年間)	2009～2019 (11年間)																																							
事業費 (億円)	工事費	9.4	9.1																																							
	用地補償費	0.0	0.0																																							
	その他	1.5	1.3																																							
	合計	10.9	10.4	0.5億円減																																						
効果の 算定要因	流域面積	191.0 ha	191.0 ha	増減なし																																						
	農地面積	20.0 ha	16.1 ha	3.9ha 減																																						
	宅地等面積	171.0 ha	174.9 ha	3.9ha 増																																						
	③ 事業実施による環境の変化	<p>工事施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用して施工することにより、自然環境や生活環境への影響を抑えることができた。</p>																																								
III 対応方針(案)																																										
今後の事後評価の必要性	主要目標が計画どおり達成されているため、今後の事後評価は不要である。																																									
改善措置の必要性	主要目標が計画どおり達成されているため、改善措置は不要である。																																									
同種事業に反映すべき事項	排水機場の改修等を行う場合は、引き続き既設の施設を活かしながら施工するなど、事業実施中においても湛水被害防止に配慮する。																																									
IV 事業評価監視委員会の意見																																										
V 対応方針																																										